

曹洞宗

長松山西源寺

住職 若月和道

平成 30 年 5 月 20 日発行

第 1 号(不定期発行)



〒404-0005

山梨県山梨市牧丘町西保中 1780

TEL・FAX 0553-35-2131

E-mail zen@saigenji.org

HP <http://www.saigenji.org>

寺報発行に あたり

檀信徒の皆様には、日頃から西源寺の護持運営等に関してご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

今回から、檀信徒の皆様にお寺の情報や取り組みを伝えるべく、西源寺報「報恩(ほうおん)」を発行いたします。現代は非常に速い速度で変貌してまいります。情報社会の中で、宗教に対する考え方や、弔いに関する考え方が多様化しています。このような時代の中、仏教の尊い教え、禅の精神を自身の生活の中に生かしていく事が大切であろうと考えます。日頃、葬儀や法事、

坐禅会等を通じてその旨をお伝えしていましたが、寺報を通じてお伝えすることにより、少しでも皆様の人生の足しになればと考え、発行していきたいと思えます。発行は不定期なものとなりますが、どうぞご一読いただければ幸いです。

寺報の題名「報恩」について

「報恩」という言葉は皆さん何となくご存知かと思えます。「報恩感謝」と言うと、もっと分かりやすいかもしれません。

「報恩」は読んで字のごとく「恩に報いること」です。



私たちは、たくさんの方々の善き縁に結ばれ、天一杯の恵みを頂戴し生かされています。このことに感謝をしなければなりません。また、一番身近なご先祖様に深く感謝を述べなければなりません。この感謝の気持ち、を形に表したものが、

いわゆる「〇〇回忌」といったような法事です。3月に開催した「大施食会」も報恩の実践になります。

私たちはこの「報恩」の気持ちを忘れがちになってしまいます。寺報の題名を見て頂き「報恩感謝」の気持ちを思い出しただければと思います、命名をいたしました。

ホームページを 開設しました!

寺報とともに、西源寺のホームページを開設いたしました。こちらでも旬な情報を随時お届けいたします。



西源寺本堂

インスタグラムやフェイスブックとも連携をしていますので是非ご覧ください。ホームページのアドレスはこちら。



HP アドレス <http://www.saigenji.org>
E-mail zen@saigenji.org

裏面もご覧ください!

水子まつりを開催しました

4月14日(土)午後2時から毎年恒例の水子まつりが行われました。天気が少し心配でしたが、無事に終了しました。

水子地藏尊・四ヶ国観音でのご供養が終わり、今年の出し物が始まりました。



四ヶ国観音供養



水子地藏尊前にて開式



渡邊敬翔君と若月和信君のコラボ演奏



今年の中野地区の渡邊敬翔(ゆきと)君と西源寺徒弟の若月和信(わしん)のコラボ演奏会を行いました。

渡邊敬翔君の津軽三味線、若月和信の祈禱太鼓演奏は、非常に迫力があり、とてもクオリティーが高い演奏会となりました。

この二人の演奏の動画は西源寺ホームページ内でご覧いただけます。

非常に大勢の参拝者にお越しいただき、盛大に水子まつりが開催できました。皆様ご協力ありがとうございました。

平成30年度護持会定期総会が開催されました

出席者33名、委任状63名。

5月12日(土)午後7時30分から西源寺本堂において「平成30年度護持会定期総会」が開催されました。

護持会通常案件等のご承認をいただきました。

今年度は、大本山永平寺団体参拝を計画しています。平成31年3月に2泊3日で行う予定です。皆さん是非ご参加ください。

次回の坐禅会

夜坐禅 5月28日(月)午後7時30分から
朝坐禅 6月3日(日)午前6時30分から 両日とも1時間程度
どなたでもご自由にご参加ください。足の悪い方でも「いす坐禅」ができます。日程は変更になる場合があります。

住職の社会活動

超宗派佛教徒 坊主道
<http://www.bozudo.com>
お寺のじかん
<http://www.otera-no-jikan.com>

平成三十年年回表

一周忌	平成二十九年
三回忌	平成二十八年
七回忌	平成二十四年
十三回忌	平成十八年
十七回忌	平成十四年
二十三回忌	平成八年
二十五回忌	平成六年
二十七回忌	平成四年
三十三回忌	昭和六十一年
三十七回忌	昭和五十七年
四十三回忌	昭和五十一年
四十七回忌	昭和四十七年
五十回忌	昭和四十四年
百回忌	大正八年

大切なお方の御法事をさせて頂きましょう。

ご先祖様のご供養は必ず行いましょう。「3回忌が終わったからいい」「7回忌をやったからいい」ではありません。報恩感謝の気持ちを行動にあらわして、届けることが私たちの行いです。ご供養は命と向き合える大切な時間です。